

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 地域社会との連携強化

## 施策1 地域団体との連携事業の推進

事業名	◎地域が一体となるイベントの実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	主体	支援	支援	支援
取組内容	地域の特徴を打ち出すイベント等を実施します。 ※例：メイドイン高砂総選挙、商店街でのイベント企画提案のコンテストなど	事業者等が実施するイベント等に参加・協力します。	事業者等が実施するイベント等を企画又は支援します。 地域が一体となるような会合を設定します。	事業者等が実施するイベント等を支援します。	事業者等が実施するイベント等をPRします。
達成状況	(銀座商店街) 毎月第3土曜日に朝ごぼん市を7月から開催している。	事業者等が実施するイベント等(朝ごぼん市など)への参加者が増えた。	朝ごぼん市への支援を行った。	HP、FACEBOOK、広報誌等で広報活動を行うなどの支援を実施した。	商店街等で実施するイベント等を市内の公共施設に配布するなどPRを行った。
自己評価	A	A	A	A	B
	コンテスト参加者の不足、広域へのPR不足	高砂町だけに限定されたイベントになっている。PR不足	高砂町に限定された動きとなっている。	目標通り支援を行うことができた。	イベントのチラシ等を公共施設に配付したが、集客効果を検証していない。設置するだけでなく、イベント参加への工夫が必要である。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	地域の特徴を打ち出すイベントを実施していく。	全市的なPRが必要。地域の人にもっと知ってもらうことが必要	市内全域に広げる必要あり。	イベント等の告知を随時紹介していく。	事業者等が実施するイベント等をPRしていく。
第3者評価	B 高砂市が一体となるイベントの企画の実施課題も明確となりBとした。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 地域社会との連携強化

## 施策1 地域団体との連携事業の推進

事業名	◎空き家・空き店舗対策事業の実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	支援	支援	主体	支援	支援
取組内容	地域内での各店舗の近況を把握します。	事業の推進に向けて協力します。	ATP事業を推進します。 さびれた場所ではなく商業地であることをPRします。	ATP事業の推進に協力します。	各種団体等が実施する事業を支援します。空き家・空き店舗バンク制度を構築します。
達成状況	ATP空き家バンクと協力し空き店舗や空き家の把握に努めた。	空き家バンク物件登録件数4件、利用者登録6件と少ない状態	ATP通信発行。 1店舗開店（まどいせん）。 入居者及び関係者と密に連絡をとり、出来るかぎりの支援を行った。	会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。 観光情報誌でのATP事業紹介を行った。	平成26年4月に空き家バンク制度を創設し、運営を委託した。
自己評価	A	C	A	A	B
	時間はかかるが3年間で10件ほど入居があった。	活用に向けたPR等が少ない。	それなりの実績は上げてきた。	積極的に協力した。	空き家バンク制度実施に取組めたが、その後の運用管理の面で課題あり。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	拡充
	今後も地域内での各店舗の近況を把握する。	広く市民に協力を求める仕組みが必要	もう少し加速した動きが必要	継続して、推進に協力する。	空き家バンク制度活用に向けた取り組みを検討していく。
第3者評価	A 実績もあり、課題も明確。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 異業種・業態との連携推進

## 施策1 商業の新連携促進

事業名	◎共同事業の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	今まで交流のなかった商業者等の交流を検討します。	新連携事業実施に協力します。	異業種と交流する場を設けます。	新連携事業実施に協力します。	商店街と大型店が共同して実施する事業に対し支援します。
達成状況	市内の商業団体との交流や県内の商業団体との情報交換を行った。	実施無し	2市2町会員大交流会実施	実施無し	共同実施事業無し
自己評価	A 市内の商業団体との交流や県内の商業団体との情報交換を行うことが出来た。	C 実施無し	A 2市2町の会員大交流会を実施することにより他市の事業者と交流を図ることができた。	C 新連携事業については実施なし	C 共同実施事業無し
今後の方向性	継続 地域の特徴を打ち出すイベントを実施していく。	継続 共同事業実施時には協力していく。	継続 他市町との交流を図ることを目的に、今後も会員大交流会は実施していきたい。	継続 日本三奇物産展（商業者）や、新兵庫史を歩く（TV局）など、他業種との連携事業に取り組む。	継続 共同して実施する事業に対して支援するとともに、日本三奇展など共同実施に向けて取り組む。
第3者評価	C 取組みに温度差有り。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 異業種・業態との連携推進

## 施策1 商業の新連携促進

事業名	◎商業活性化調整会議の開催				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	主体	支援	主体
取組内容	会議に出席し理解と協力を求めます。	会議に出席し、商業活性化の施策に協力します。	定期的開催し商業活性化の施策について協議します。会議に出席し理解と協力を得ます。	会議に出席し、商業活性化の施策に協力します。	定期的開催し商業活性化の施策について協議します。
達成状況	現在の商業者のおかれる実情は理解してもらえた。	住民の立場として会議に出席し、意見交換を行った。	商業活性化調整会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。	商業活性化調整会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。	商業活性化調整会議を2箇月に1回開催した。
自己評価	A	A	A	A	A
	商業者としての課題・問題点を提起できた。	課題・問題点を提起できた。	問題点を抽出することができた。	問題点の改善に前向きに意見を交わした。	商業活性化調整会議を2箇月に1回開催し、地域の課題等を協議した。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	今後も会議に出席し、意見交換を行っていく。	今後も会議に出席し、意見交換を行っていく。	問題点の解決策を話し合っていく。	観光という側面から見た意見を出していく。	今後も定期的開催し商業活性化の施策について協議していく。
第3者評価	A 問題提起等積極的な姿勢を評価。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 異業種・業態との連携推進

施策2 専門機関や学校との連携

事業名	◎イベント・発表の場の提供等の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	主体	支援	支援	支援
取組内容	イベント・発表の場についての情報を提供します。	イベント・発表の場についての情報を提供に対し協力します。	松の子本舗開店を支援します。発表の場を提供します。	イベント・発表の場についての情報を提供します。	イベント・発表の場についての情報を提供します。（発表の場にふさわしいハード整備）
達成状況	商店街や商業施設での発表の場を提供している。	イベント・発表の場についての情報の提供がない。	伊保駅前商店街にて松の子本舗開店	実施無し	実施無し
自己評価	A	C	A	C	C
	商店街や商業施設での発表の場を提供ができた。	情報提供がない。	学校と商店街の連携を図り発表の場を提供できた。	具体的な取り組みなし。	具体的な取り組みができなかった。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	今後も発表の場を提供していく。	イベントや発表の場の情報提供を求めていく。	市内商店街との連携を推進していく。	イベント・発表の場についての情報を提供していく。	イベント・発表の場についての情報を提供していく。
第3者評価	C 実施者に温度差有り。個別の目標が必要。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 個店の独自性の創出

施策1 個性ある個店づくり

事業名	◎既存商品の掘起し				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	各業種の勉強会・講習会に参加します。高砂染め・松右衛門はん布事業を推進します。	既存商品の掘起しに協力します。	既存商品の研究を支援します。勉強会・講習会などの情報を提供します。	観光協会推奨の物産シールを企画・作成します。	既存商品の掘起しを支援します。
達成状況	既存商品を高砂の推奨品とするための見直しを行った。	実施無し	実施無し	推奨マークの選定、12店舗17商品を認定し、PR活動を行った。	経営相談をPRした。
自己評価	A 推奨品とするにはよりクオリティの高さが求められる。	C 既存商品の掘り起こしに協力できなかった。協力は難しい。	C 既存商品の掘り起こしができなかった。	A HP、FACEBOOK、新聞広告、ポスターなどで、推奨品を幅広くPRする事ができた。	A 高砂市観光物産推奨品事業に協力できた。
今後の方向性	継続 既存商品のクオリティを高めていく。	休止 既存商品についてのアンケート調査は協力する。	継続 情報を収集し既存商品の見直しを図る。	継続 継続して実施する。	継続 今後も経営相談をPRしていく。
第3者評価	A 具体的に前進している。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 個店の独自性の創出

施策1 個性ある個店づくり

事業名	◎高砂ブランド商品の開発事業の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	主体	支援	支援
取組内容	ブライダル商品の開発を進めます。 ※例：ブライダルグッズの掘起し	高砂ブランド商品の開発事業に協力します。	専門家とのマッチングをします。	高砂ブランド商品の開発事業に協力します。	ブランド商品を開発する商業者等に対する支援内容を検討します。
達成状況	未達成（一部は開発されている）	実施無し	実施なし	既存商品の改良や、名品同士のコラボによる新商品開発などを、コーディネーターとともに検討し、提案した。	緊急雇用機会創出事業を活用し、ブランド商品開発を高砂物産協会に委託した。
自己評価	B	C	C	B	A
	一部開発に繋がった。	協力は難しい。	商品開発に対し専門家とのマッチングができなかった。	専門家を活用した取組を行ったが、実際に商品化には至っていない。	高砂物産協会にブランド商品開発を委託し、松右衛門帆バックの新たなデザインを開発した。
今後の方向性	継続	休止	継続	継続	継続
	ブライダル商品の開発を進めていく。	ブランド商品開発時のアンケート調査は協力する。	情報を収集し、高砂らしい商品のブランド化を支援する。	継続して実施する。	商業団体、観光協会と連携し、高砂ブランド商品の開発を支援する。
第3者評価	C 主体の変更を検討する必要があるのでは。				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度	(平成26年度～平成32年度)		

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 個店の独自性の創出

施策2 高齢者にやさしいサービスの推進

事業名	◎送迎サービス（買い物バスの運行）				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	送迎サービス等の実施に向けて検討します。	送迎サービス等の実施に向けて協力します。	意見を集約し市へ要望を提出します。	観光に関するニーズを把握し、事業化を模索します。	じょうとんバスを活用したお買い物バスの運行を検討します。
達成状況	検討中	実施無し	実施無し	実施無し	じょうとんバスをお買い物バスとして活用できるコースの紹介を検討した。
自己評価	C	C	C	C	C
	検討するまでいかなかった。	実施無し	意見を集約するまで行かなかった。	実施無し	お買い物バスのコースとして紹介するまでには至らなかった。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	今後高齢化を考えれば是非とも必要。	ニーズを把握する際のアンケート調査時に協力する。今後、高齢化を考えれば是非とも必要	今後高齢化を考えれば是非とも必要。	観光につながるニーズがあれば支援していく。	今後もじょうとんバスを活用したお買い物バスの運行を検討していく。
第3者評価	C 具体的な協議が必要。意見交換からでも始めてはどうか。				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度	(平成26年度～平成30年度)		



## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 魅力ある商業地の創出

施策1 商店街の活気づくり

事業名	◎空き家・空き店舗を活用したイベントの開催				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	イベントの開催に向け検討します。	イベント開催に向け参加・協力します。	松の子本舗を開店します。イベント開催に向けて商業者に協力を要請します。	各出店者及び関連団体の開催イベントをPRします。	イベントの開催についてPRします。
達成状況	高砂町（銀座商店街）で毎月第3土曜日に朝ごぼん市を実施している。	イベントに参加した。（フリマなどでは出店）	松の子本舗開業	facebookやHP、広報誌にてイベントPRを行った。	イベントの開催について、チラシ・ポスターを公共施設に配布するなどPRを行った。
自己評価	A	A	A	A	B
	高砂町のみの実施である。市内全域にまでPR出来ていない。	フリマなどのイベントでは出品者が増えた。	合同でイベントを実施することにより一層集客に繋がった。	広報活動に協力できた。	公共施設に配布しイベントのPRを行ったが、集客効果の検証を行っていない。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	イベントの継続とPRに取り組んでいく。	イベントの開催についてPRしてほしい。今後もイベントに参加・協力していく。	様々な地域で開催していきたい。	継続してPRを行う。	今後もイベントの開催についてPRしていく。
第3者評価	A 実績があるため。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 魅力ある商業地の創出

施策2 地域コミュニティの場の形成

事業名	◎空き店舗を活用した憩いの場づくり				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	空き店舗を活用した憩いの場づくりに協力します。(を提案します)	空き店舗を活用した憩いの場づくりに向けて協力します。	空き店舗を活用した憩いの場づくりを検討します。	空き店舗を活用した憩いの場づくりを支援します。	空き店舗を活用した憩いの場づくりを支援します。
達成状況	一部達成出来ているが利用者が少ない。	高砂やを利用した。	高砂やの活用により憩いの場を確保することができた。	A T P 事業を支援した。	商店街等が空き店舗を活用するイベントの P R を行った。
自己評価	B	B	B	B	B
	活用の度合いが少ない。	利用件数が少ない。	活用の度合いが少ない。	P R のみの支援。	イベントの P R のみの実施となった。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	他の場所も含めもっと活用の場を広げたい。	空き家など賃貸物件の提供に努める。	他の場所も含めもっと活用の場を広げたい。	継続して A T P 事業を支援する。	今後も空き店舗を活用した憩いの場づくりを支援し、P R 以外の支援策を検討
第3者評価	B 実績はあるが、利活用が少ない。				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度 (平成26年度～平成29年度)			

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 創業（開業）支援

施策1 創業に役立つ情報発信の充実

事業名	◎空き家・空き店舗バンク制度の構築				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	支援	支援	主体	支援	主体
取組内容	空き家・空き店舗バンク制度の構築に協力します。	空き家・空き店舗バンク制度の構築に協力します。	空き家・空き店舗バンク制度の構築に協力します。 ※例：空き家ビジネス成功事例集の作成	空き家・空き店舗バンク制度の構築に協力します。	空き家・空き店舗バンク制度を構築します。
達成状況	協力・支援している。	空き家バンク登録物件4件、利用者登録6件	ATP事業の一環として協力	ATP会議に出席し、意見交換等を積極的に行った。	平成26年4月に空き家バンク制度を創設し、運営委託した。
自己評価	B	B	B	B	A
	空き店舗の情報を提供する。	登録数が少ない。	数件、開業が見られたがまだまだ街の活性化までは至っていない。	積極的に支援したが、活性化には至っていない。	空き家バンク制度の構築に至ったが、その後の運用面に課題がある。
今後の方向性	拡充	継続	継続	継続	拡充
	朝ごぱん市等の活性化事業を通しチャレンジショップという手段で店舗の定着や拡充を行う。	物件、利用者登録数を増やしていく。	空き家バンクの活発な活用を図っていききたい。	継続してATP事業を支援する。	空き家バンク制度活用に向けた施策及び運用について検討が必要
第3者評価	B 空き家バンク制度を構築したが、利用が少ない。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 創業（開業）支援

施策2 創業時のサポート体制

事業名	◎チャレンジショップ				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	主体	支援	支援
取組内容	チャレンジショップの実施に向け協力します。 ※例：1箇月間など短期トライやるスペースの提供	チャレンジショップの実施に向け協力します。	チャレンジショップの募集、取りまとめを行います。	チャレンジショップの実施に向け協力します。	チャレンジショップの実施に向け支援します。
達成状況	短期（イベント）での実施は行っている。	実施無し	実施無し	実施無し	実施無し
自己評価	C	C	C	C	C
	イベントでの実施のみであった。	実施無し	予算的に難しい。	実施無し	チャレンジショップ実施に向けた検討のみで、具体的な取り組みができていない。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	場所の提供など実施に向けて協力できる体制づくりを整える。	チャレンジショップができれば活用していく。	必要性は感じている。	ATP事業の一環としてのチャレンジショップを支援する。	地方創生に係る交付金を活用し、チャレンジショップの実施に向けた支援を行う。
第3者評価	C 創業の情報提供、セミナー開催がない中での実施は無理と思われる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度	(平成26年度～平成28年度)		

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 商業者育成の推進

施策1 経営者の意識改革

事業名	◎経営改善等に関する講習会等の実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	支援		主体		支援
取組内容	講習会等に参加します。		経営改善セミナーを実施します。		国・県等が実施しているセミナー研修会等を紹介します。
達成状況	講習会等に参加した。		11月～1月の実施		国・県等が実施しているセミナー研修会等を紹介した。
自己評価	B	(S・A・B・C)	A	(S・A・B・C)	A
	広域にPRが出来なかった。		受講者は定員数に近い数を確保。		国・県等が実施しているセミナー研修会等を紹介できた。
今後の方向性	継続	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続
	より広域に情報提供をして行く。		必要性が高い研修内容を選択し実施。		今後も国・県等が実施しているセミナー研修会等を紹介していく。
第3者評価	A 今後の経営改善講習に期待。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 商業者育成の推進

#### 施策3 後継者の育成

事業名	◎まちづくりワークショップ、勉強会等の開催				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	まちづくりワークショップ開催します。 ※例：後継者交流会の開催を検討	まちづくりワークショップ開催に協力します。	まちづくりワークショップ開催に協力します。	まちづくりワークショップ開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催を支援します。
達成状況	検討中	実施無し	実施無し	実施無し	実施無し
自己評価	B	C	C	C	C
	A T P等では開催	実施無し	必要性はあると思うが優先順位が低い。	具体的取り組み無し	具体的な取り組みができなかった。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	開催に向けて検討していく。	開催時には参加していく。	必要性はある。	観光客の体験型観光に結びつくようなワークショップを支援する。	今後もまちづくりワークショップ等の開催を支援していく。
第3者評価	C ボランティアに任せるなど受け皿が必要では？				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 まちの魅力活用

施策 魅力活用の推進

事業名	◎（商店街を活用し）高砂の魅力を活用したイベントの実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	商店街内の店舗に高砂らしい商品の展示をします。	イベントの実施に向けて協力します。	高砂の魅力を活かしたイベントを提案します。	イベントを実施した際にPRします。	イベントの実施に向け支援します。
達成状況	銀座商店街主催「朝ごばん市」開催。万灯祭で高砂ブランド商品の展示を行った。	イベント実施時に参加	高砂やを使ったイベントの提案	FacebookやHP、広報誌を活用し、積極的にイベントPRを行った。	イベント実施時にPR等を行った。
自己評価	A	B	B	A	A
	イベント等を活用し、高砂の魅力ある商品を紹介できた。	イベント実施時に参加	魅力ある提案をすることができなかった。	FacebookやHP、広報誌を活用し、PR活動、集客に協力した。	イベント実施時にPR等を行うことができた。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	今後も実施していく。	イベント実施時に参加していく。	少しでも集客を図れるイベントの提案を行いたい。	引き続きPR活動に励む。	今後もイベントの実施に向け支援していく。
第3者評価	A 実績があり、課題も明確である。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 まちの魅力活用

施策 魅力活用の推進

事業名	◎婚活イベントの実施				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	支援	支援	主体	主体	支援
取組内容	街コンなどの実施を検討します。	婚活イベントの実施に向け協力します。	出会いの場を創設します。	定期観光バス事業での婚活イベント実施を検討します。	婚活イベントの実施に向け支援します。
達成状況	検討中	婚活イベント実施時に参加	キャンドルカフェ2014開催10組カップル誕生	本年度主体的なイベントは実施していないが、観光情報誌で、キャンドルカフェのPRに協力した。	キャンドルカフェ等婚活イベント実施に際しPRを行った。
自己評価	C	B	A	C	B
	検討のみとなった。	婚活イベント実施時に参加	キャンドルカフェ実施により出会いの場の創設はできている。	主体的イベント無し	キャンドルカフェ等婚活イベントの実施に際しPRを行うことができた。
今後の方向性	継続	継続	継続	縮小（支援）	継続
	商工会議所及び観光協会等と連携して取り組んでいく。	婚活イベント実施時に参加していく。	キャンドルカフェ実施にあたり、結果を考えた企画・考案をしていきたい。	イベント実施の支援を行う。	今後もイベントの実施に向け支援していく。
第3者評価	C 各種団体に温度差有り。共通のイベントが必要では？				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			



## 5 市内主要地区重点施策

(1) 銀座商店街周辺を中心とした高砂地区

【施策の方向】 高砂町の歴史的な街並みを活かすとともに交流の拠点となる商店街づくり

事業名	◎空き店舗等を利用した定期的なイベントの開催（朝市など）				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	朝市開催に向けて取り組みます。	朝市開催に向けて協力します。	朝市開催に向けて支援します。	朝市開催に向けて協力します。	朝市開催に向けて支援します。
達成状況	朝ごぼん市を定期的に開催できた。	朝市朝ごぼん市のPRを積極的に行った。	朝ごぼん市・ATPカーニバルへの支援を実施	朝ごぼん市のPRをFacebookや広報誌にて積極的に実施した。	(銀座商店街) 毎月第3土曜日朝市開催に際し、PR及び駐車場の確保等を協力した。
自己評価	A	A	A	A	A
	市内外から多くの方が訪れた。食を中心に地元野菜や魚など豊富な品揃えが出来た。	多くの方々から出店依頼などの問い合わせも頂き、積極的にPRができた。	朝ごぼん市については支援体制を整え協力。	積極的に広報活動を行った。	朝市開催に際し、PRや駐車場の確保などの支援ができた。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	今後も朝ごぼん市を定期的に開催していく。	住民の方々の意見などを報告し、積極的に参加して頂けるイベントを提案していきたい。	高砂や等の空き家の活用を知ってもらうために今後も継続的なイベントは必要。	朝市や各種イベント開催について協力していく。	継続実施に向けて支援する。
第3者評価	A 実績もあり、評価できる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			

## 5 市内主要地区重点施策

### (2) アスパ高砂

【施策の方向】 文化と協調した新しい形態でのショッピングづくり

事業名	◎生活情報の発信の拠点づくり				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政
	主体	支援	支援	支援	支援
取組内容	生活情報の発信に向けて取り組みます。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	生活情報の発信に向けた取組みを支援します。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	生活情報の発信に向けた取組みを支援します。
達成状況	あなご料理コンテストの開催に協力した。	あなご料理コンテストに参加した。	あなごウィーク周知のための捕れたてあなごの配付 あなご料理コンテストの開催等	実施無し	生活情報の発信に向けて、情報掲示板等の場所を調整中
自己評価	B	B	C	C	C
	あなご料理コンテストの開催への協力ができた。	生活情報の発信源として利用した。	アスパ高砂を情報発信の場として利用できた。	具体的な取り組み無し	具体的な取り組みができなかった。
今後の方向性	継続	継続	継続	継続	継続
	生活情報の発信に向けて取り組んでいく。	生活情報の発信に向けた取組みに協力していく。	今後とも情報発信の場としてアスパ高砂を活用させていただきたい。	他団体の事業などを広報誌などを使い発信していく。	どのような方法で情報発信するのが効果的かどうか検討していく。
第3者評価	B 商業団体のC評価に疑問が残る。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)			